



TITLE:

京大広報 No. 458

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 458. 京大広報 1993, 458: 672-677

ISSUE DATE:

1993-12-15

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209178>

RIGHT:

ファイル中には未許諾による非表示部あり.

京大広報

No. 458

京都大学広報委員会

ceres<retrieve:9> match_check2 key/pixdb22002

Now reading index-image...done.
Now retrieving image...done.

1. scene002	Total: 4096	Correct: 3227	Wrong: 869	78.7 %
2. scene050	Total: 4096	Correct: 2689	Wrong: 1407	65.6 %
3. scene093	Total: 4096	Correct: 2519	Wrong: 1577	61.4 %
4. scene051	Total: 4096	Correct: 2512	Wrong: 1584	61.3 %
5. scene053	Total: 4096	Correct: 2425	Wrong: 1671	59.2 %
6. scene063	Total: 4096	Correct: 2237	Wrong: 1859	54.6 %
7. scene141	Total: 4096	Correct: 2136	Wrong: 1960	52.1 %
8. scene096	Total: 4096	Correct: 2088	Wrong: 2008	50.9 %
9. scene004	Total: 4096	Correct: 2027	Wrong: 2069	49.4 %
10. scene073	Total: 4096	Correct: 1979	Wrong: 2117	48.3 %

風景画像の検索

—関連記事本文674ページ—

左上：マウスで入力した検索キーの画像
右上：検索キー画像と風景画像との類似度
下：検索結果（類似度順に8位候補まで）

目次

<大学の動き>

- 年末年始の火災予防と特別防火演習……………673
- 自衛消防団員に感謝状贈呈……………673

<榮譽>

- 医学教育等関係業務功労者の表彰……………673

—公開講座—

- 文学部博物館「古文書セミナーⅥ」……………674

<紹介>

- 工学部附属高度情報開発実験施設……………674
- 日誌……………675

<随想>

- 五年一昔……………名譽教授 倉田道夫……………676

<コラム>

- フィールドワーク雑感……………宝月 誠……………677

<大学の動き>

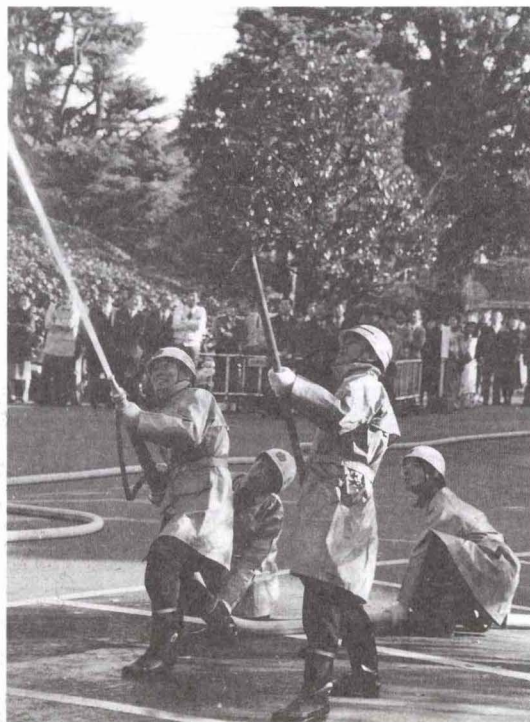
年末年始の火災予防と特別防火演習

本学教職員並びに学生諸君には、日頃から火災予防にご協力願っているが、年末年始の火災多発期を控え、一人一人が防火についての認識と理解をなお一層深めるようお願いしたい。また、消防署による本年の立入検査の結果、廊下等避難通路上の障害物撤去、喫煙管理の徹底、ガムテープ等で巻かれている電気配線の改修、高圧ガスボンベの転倒防止措置の改善、失効消火器の更新等種々の事項を指示されている。この機会にそれぞれの場において、これらの指示事項に留意し、防火管理の強化及び消防用設備の点検等を実施のうえ、早急に改善されるようお願いする。

本学には、学内の火災事故に備えて、自衛消防団が置かれているが、本部地区自衛消防団による恒例の年末特別防火演習を12月7日（火）午後1時30分より実施した。当日は、学生部の協力により学生部2階教養掛事務室から出火したものと想定し、通報連絡、初期消火、避難誘導、救出、物品搬出等一連の総合訓練を行い、自衛消防団の消防車による活動のほか、左京消防署からも数台の消防車が出動して、合同の消防訓練等を行った。

また、病院地区は12月6日（月）に、宇治地区では12月8日（水）にそれぞれ実施された。

（経理部）



<栄誉>

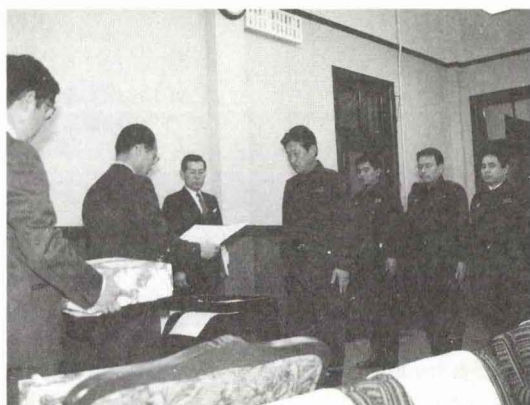
医学教育等関係業務功労者の表彰

片桐久江技官（胸部疾患研究所附属病院看護助手）は、医学に関する患者診療等に係る補助的業務に関し顕著な功労があったことにより、11月15日、文部大臣から平成5年度医学教育等関係業務功労者の表彰を受けた。

自衛消防団員に感謝状贈呈

12月7日（火）自衛消防団と左京消防署合同による年末特別消防演習が学生部を中心に行われ、自衛消防団の日頃の訓練成果が披露された。引続き、本部事務局長室において、自衛消防団員に対して総長からの感謝状及び記念品が田村事務局長より贈呈された。

この日感謝状を受けた団員は、坂本安行、野木正博（以上庶務部）、傍島孝、辻本和夫（以上経理部）、野田均、北原昭男（以上防災研究所）の各氏である。



感謝状贈呈式

—公開講座—

文学部博物館「古文書セミナーⅥ」

文学部博物館では、平成5年秋季公開展示にあわせ10月30日から11月27日までの間、4回にわたり土曜日の午後1時30分から4時まで、同講演室において第13回公開講座「古文書セミナーⅥ」を開催した。

今回で6回目になるこの古文書セミナーは一般市民を対象とし、本学教官3名と他大学の教官が講師となり、館収蔵の古文書を素材として、その内容が理解できるよう、また活字だけでは味わえ

ない古文書の魅力を紹介していくものであり、66名が受講した。

講義題目、講師は次のとおりであった。

伊勢神官文書の世界

京都教育大学 西 山 克

中世の古文書

—文学部博物館の古文書から—

文 学 部 今 岡 典 和

中世都市の変容と都市文書

文 学 部 仁 木 宏

古代女性と文字文化

文 学 部 吉 川 真 司

(文学部)

＜紹介＞

工学部附属高度情報開発実験施設

施設における研究・開発

工学部附属高度情報開発実験施設は、メディア統合型研究システムの研究開発を目的として平成元年5月に設置された10年時限の施設である。現在は、メディア統合部門に、教授1、助教授1、また、特別設備運用のための技官1が配置されている。情報工学教室の研究協力体制のもとに、画像、文書、音声などの各種メディアの情報処理装置やファイル装置、ワークステーションなどをネットワークで結合した分散処理システムを構成している。

施設の運営は、施設、工学部の他教室、大型計算機センターの教官から選ばれた施設教授会並びに施設運用委員会により行われている。

施設の特徴は、情報工学関連の最新の研究成果を他の分野の研究者にも公開して利用してもらうことであり、各種利用の手引も発行している。中でもネットワーク利用に関する手引は、KUINSに接続を考えておられる人々に直ちに役に立つものである。

施設の研究活動は、以下のように分けられる。

- ・ネットワーク環境の構築、維持、機能向上
- ・画像情報処理システム構築
- ・各種メディアのデータベースの構築

ネットワーク環境の構築、維持、機能向上

本施設のネットワークは、従来から情報工学教室のLAN（ローカルエリアネットワーク）と一体化して構築されてきた。さらに、京都大学統合情報ネットワーク KUINS の運用と協調し、若手教官及び学生の協力を得て、大学内外のネットワークの接続、計算機資源の提供、ネットワーク運用のための技術的支援を積極的に行っている（写真1）。これらの活動は表面的には見えにくく地味なものではあるが、利用価値のあるネットワークの運用に欠くことのできないものである。

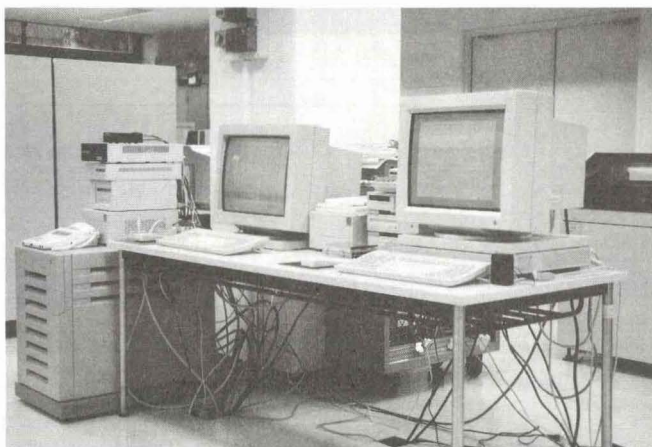


写真1 ネットワーク管理用ワークステーション

画像情報処理システムの研究

画像情報処理に関する研究活動として、京都大学画像科学フォーラムという研究会を年3回開催し、画像関連研究者の交流をはかっている。画像処理技術に限らず、情報処理技術は多くの学部横断的に関わるもので、研究会においても面白い議論が出てきている。また、各種ワークステーションで画像を処理するためのソフトウェア KUMI (Kyoto University MultiImage handling system) を開発し学内に公開している。最近、実験データの記録、コマンド機能を利用したアニメーション作成のためのビデオシステムの充実も進めている。表紙写真は、KUMI を利用して構築された画像データベースの検索実験の様子である。

各種メディアのデータベースの構築

本施設では、データ管理システムとしてのデータベースを画像、音声、図面、文書などメディア

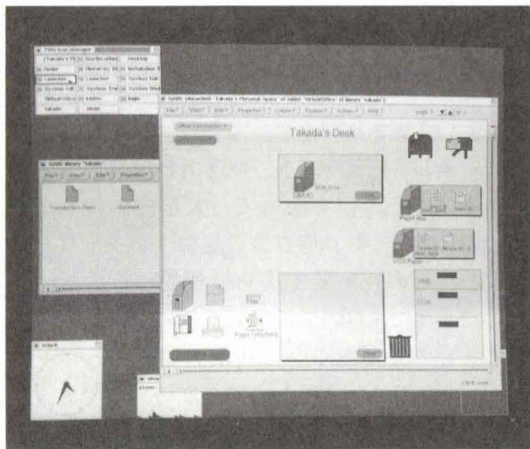


写真2 オフィス活動支援システム

統合のための重要課題の一つと位置付け、研究活動を行っている。現在、地図データベースを題材としてグラフィックデータや文字データの統合・利用者インタフェースなどについての研究、メディア統合情報システムの実例としてオフィス活動支援システム(写真2)の研究も行っている。

まとめ

情報処理システムは、単なる情報処理を行うためのものではなく、各種の情報メディアの中核として、さらに上位のメタメディアあるいは「知能情報メディア」としてとらえる必要がある。この視点から、本施設では、真の高度情報を取り扱う各種のメディアの統合的処理、それを支える新しい概念の情報処理システム、情報ネットワークシステムの研究・開発を目指している。多様な媒体に担われた情報から、真に必要な情報を抽出して処理するという課題は、当施設の設置目的であり、たゆまず最大限の努力を払いながら、情報科学・情報工学の分野の先頭にたった新しい視点を開拓していきたい。具体的には、超並列計算機アーキテクチャ、ギガビットネットワークを中心としたインフラストラクチャの上で、これまでになかったシステムの実現を目指していく予定である。

資料請求先

本記事で紹介した利用の手引や画像処理用ソフトウェアなどを入手希望の方は本施設(内線5979:渡辺)まで御連絡いただきたい。

(工学部)

日 誌

(1993年11月1日～11月30日)

- 11月1日 カナダ国 ビショップス大学 David G. Bevan 副学長来学、総長及び関係教官と懇談
- 5日 同和問題委員会
- 9日 評議会
- 〃 平成5年度京都大学職員研修主任研修(第2回)(12日まで)
- 〃 中華人民共和国 国家自然科学基金委员会沈文雄委員他4名来学、総長及び関係教官と

懇談

- 10日 国際交流委員会
- 〃 国際交流会館委員会
- 14日 総合人間学部創設記念式典
- 20日 農学部創立70周年記念式典
- 26日 中華人民共和国 南京大学 張 永桃副学長他2名来学、総長及び関係教官と懇談
- 29日 学位授与式

